

# 広報



千曲坂城消防  
Chikama Sakaki Fire Dept.

# しょうぼう

2013

No.39

平成25年12月1日

発行 千曲坂城消防本部 長野県千曲市大字磯部1221番地 編集 総務課 代表電話026-276-0119 FAX026-276-9119



**我々は「3・11 東日本大震災」を忘れない**  
**M7.0地震を想定**  
**大規模危険物施設において総合防災訓練実施**

平成25年10月30日坂城町JX日鉱日石エネルギー(株)北信油槽所において、長野県北部を中心にM7.0の地震が発生した想定による総合防災訓練を実施しました。訓練では危険物の漏洩、消火対応訓練に併せて多数傷病者応急救護訓練も行いました。

また、10月24・25日震災対応訓練として、実際の建物を活用し千曲市、旧上山田保育園舎において倒壊建物による座屈救出訓練を行いました。様々な災害活動に対応できるよう日々訓練を重ねていきたいと思えます。

決して我々は忘れません。「3.11 東日本大震災」のことを。

平成25年11月1日現在

管内の 世帯と人口	世帯数		人口	
	世帯数	人口	世帯数	人口
千曲市	21,900	61,188		
坂城町	6,005	15,796		
計	27,905	76,984		
		世帯		人

# 管理者あいさつ 安心・安全に 向けて



管理者  
岡田 昭雄

この紙面をおかりして一言ごあいさつを申し上げます。

消防組合はお陰をもちまして、本年九月二日に千曲坂城消防組合設立十周年を迎えることができました。

この間、大過なく地域住民の皆様のご生命と財産を災害から守るといふ、消防の使命を果たせた事は、先人各位の弛まぬご尽力と、地域住民の皆様が消防行政の推進に多大なるご理解をいただいた賜物と深く感謝を申し上げる次第であります。

近年、異常気象という言葉がよく耳にしますが、異常気象の定義は、過去三十年の気象に対して著しい偏りを示した天候をいいます。こうした定義を見る限り、近年の気象の変化は、異常気象と感ぜられる事例が多く、多発していることもあり、異常気象の概念も崩れてきているように感じてしまうほどで、台風、豪雨、竜巻など自然災害の頻度

も確実に多くなっています。

我々は、こうした災害にも備えていかななくてはなりません。

さて、東日本大震災以降「絆」という言葉の重さが認識されてきました。

災害に立ち向かうには、消防職員はもとより地域住民相互の「絆」なくして、その実現はありえませんが、

自分の身を努力によって守る『自助』と地域や近隣の人々が互いに協力しながら組織的な防災活動に取り組む『共助』が被害を軽減することと考えます。

どうか皆様には、防災に関する訓練や救命講習会などに積極的に参加していただき、こうした訓練を通して、それぞれの「絆」を深め合い災害に備えていただきたいと思います。

消防組合の役割は、さまざまな災害から地域住民の生命・身体・財産を守ることであり、

消防体制の確立、さらには、震災対策をはじめ火災予防並びに救急・救助体制の強化を図りつつ、社会の動向や地域住民のニーズを正しく把握し、地域と一体となった消防行政を推進し、管内にお住まいの皆様にご安心・安全の提供に努めてまいります。

当組合の消防防災業務になお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 消防長あいさつ



消防長  
保坂 正男

皆様方には平素から当組合の消防行政に深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、未曾有の被害に見舞われた記憶に新しい東日本大震災以降、今なお日本各地で数多くの地震が続く、今年も観測史上まれにみる豪雨や竜巻、突風が多発し甚大な被害が発生しています。

また、台風十八号では、数十年に一度の規模の大雨のため、本年八月三十日から気象庁が運用を開始した「大雨特別警報」が京都府、滋賀県、福井県に発令され、最大限の警戒が呼びかけられるほどの豪雨に見舞われ、この他にも全国各地で被害が発生し犠牲者も出ております。

また、南海トラフを震源とした広域的な大地震の発生も、今後三十年以内の発生確率も八十パーセントを超えるという予想もされ、地域を問わず突然大きな被害に見舞われるおそれもあり、災害の複雑多様化かつ大規模化も危惧されております。

このような状況の中、消防には、

消火、救急及び救助活動に対し、高度かつ、専門的な知識や技術が求められ、各種災害から地域住民の皆様のご生命、身体、財産を守るため、より一層の消防体制の充実強化に向け鋭意努力を重ねているところであります。

我々は、自治体消防六十五年の伝統を継承するなかで、新たな取り組みを行うことを常に心掛け、消防職員一人ひとりが住民に対し何が必要かを考え「企画・立案・実行」を行うことで、「安全」と「安心」を感じていただけるよう創意工夫し住民サービスの向上に努めていきたいと考えております。

そのためにも、この「広報しょうぼう」で発信する、消防・防災情報を多くの人々にご活用いただき、今後とも引き続き何卒のご理解とご協力をお願い致します。

結びに、住民の皆様のご多幸を祈念し、挨拶いたします。



## 新たな消防組合議員 副議長に

大森 茂彦 氏

坂城町議会議員構成が変わり五月十七日、同議会臨時会で当消防組合議会議員として三名が選出されました。

また、十一月十一日の平成二十五年第二回千曲坂城消防組合議会定例会において、副議長に大森茂彦氏が就任されました。

消防組合議会議員及び監査委員は左記の方々です。

### 消防組合 議会議員・監査委員

- 議長 中沢 政好(千曲市)
- 副議長 大森 茂彦(坂城町)
- 議員 吉田 昌弘(千曲市)
- 議員 荻原光太郎(千曲市)
- 議員 和田 重昭(千曲市)
- 議員 宮坂 重道(千曲市)
- 議員 林 愛一郎(千曲市)
- 議員 中村 了治(千曲市)
- 議員 小玉 新市(千曲市)
- 議員 柳澤真由美(千曲市)
- 議員 塩野入 猛(坂城町)
- 議員 西沢 悦子(坂城町)
- 監査委員 中澤 守(坂城町)
- 監査委員 和田 重昭(議会議員選出)

# ヒートショックを ご存知ですか

## これからの季節は 用心して下さい

ヒートショックとは、急激な温度変化により血圧の降下や脈拍の変動が起こり、身体が受ける悪影響のことをいいます。

脳血管障害や心筋梗塞などの深刻な疾患につながる危険性もあるため、高血圧症や動脈硬化の傾向がある人は影響を受けやすく、特に高齢者の方は注意が必要です。

## なぜヒートショックは 起きるの

これから冬本番の寒さになります。冬場の入浴の際は、暖房器具などで暖められた居間から、寒くて冷たい浴室へと移動して入る人も多いことでしょう。



その後お湯に浸かると思いますが、暖かい湯の中に入ると血管が広がって急に血圧が下がり、その結果、血圧が何回も変動することになります。

この、血圧の変動が心臓に負担をかけ、脳血管障害や心筋梗塞を引き起こすことがあるのです。

また、寒いトイレでも似たようなことが起こる可能性があります。

## 予防策として

・脱衣所や浴室内を暖めておく  
暖房器具で暖めてもよいですが、浴室内はシャワーを出して床面を暖めておくのも一つの策です。

・浴槽の湯は熱すぎないように  
四十度未満のお湯に浸かり長湯はしないようにしましょう。

・持病のある方は半身浴で  
心臓病や高血圧症の人は心臓に負担があまりかからない半身浴をおすすめします。

以上のことに注意して冬場の快適入浴を心掛けてください。

また、全国では一年間に約一万人の方がヒートショックで亡くなっているとの統計がでています。万が一の際は救急車の要請をしてください。

## 応急手当 ワンポイントアドバイス



浴槽内で具合が悪く、意識がなくなっていた場合は、排水栓を外しお湯を排水して、溺水の予防をしましょう。  
(気道を確認すれば排水は不要)

## 救急車の 要請について

救急車を呼ぶか呼ばないかと迷うことはありませんか？

万が一迷った場合は、かかりつけの病院や医院に相談するか、消防署へ電話で相談して下さい。通信指令員が症状などを聞き、救急車が必要かどうかを判断します。

また、実際に救急車の要請の場合、患者さんの状態が重篤または緊急と判断できた時には、通信指令員が応急手当の指導をするので、指示に従って手当を実施して下さい。

## 普通救命講習会の 定期開催について

昨年度から実施している普通救命講習会の定期開催を平成二十六年度も実施します。是非受講してみして下さい。

なお、平成二十六年二月の開催分(坂城消防署・二月十五日)も受講者に余裕がありますので参加して下さい。

平成二十六年度の  
開催予定日、受講要領等は  
次のとおりです。

平成二十六年  
五月十七日(土)

会場 更埴消防署

六月十四日(土)

会場 坂城消防署

八月二十三日(土)

会場 更埴消防署

九月九日(火)

会場 戸倉上山田消防署

十月十八日(土)

会場 坂城消防署

十一月十五日(土)

会場 更埴消防署

平成二十七年  
二月二十二日(土)

会場 坂城消防署

講習時間はいずれも午前九時から十二時までです。

## 受講申し込みは

各消防署の窓口に直接申し込みか、電話にて申し込んでください。定員は各会場二十名です。(開催日の三日前まで受付可)

## 申込、問い合わせなど

戸倉上山田消防署(救急係)  
026-275-0599  
更埴消防署(救急係)  
026-274-0119  
坂城消防署(警防係)  
0268-82-0119

平成二十五年四月一日から十月末日までの間に当本部管内で普通救命講習(定期開催含むI及びII)を受講された方の人数は六〇〇人を超えています。  
応急手当が必要な時には講習で得たことを実践してください。



7月15日上級救命講習会

# 第三十四回防火ポスター展開催

防火ポスター展は、例年小・中学校児童生徒の防火意識の高揚と火災予防思想の普及を図ることを目的に実施され、今年度は戸倉上山田・坂城地区を中心に各小・中学校から力作三百十六点が出品されました。

作品の審査には担当する小学校の先生と消防長等があたり、審査の結果、金賞六点、銀賞八点、銅賞十五点選ばれました。

入賞作品の二十九点は、各種行事の際に掲出する等火災予防の一翼を担うことになっていきます。

なお、本年度金賞作品の中から、南条小学校五年生の野原洋輝さんの作品が最優秀賞として、消防本部が発行する来年の防火カレンダーに、そして、優秀賞に選ばれた更埴西中学校一年の宮崎涼介さんと、東小学校六年の高橋和基さんの作品が埴科消防協会が各戸に配布する、今年度の防火チラシの図案に採用されることになりました。

## 最優秀賞



↑野原洋輝さんの作品

## 審査風景



↑高橋和基さんの作品

## 優秀賞



↑宮崎涼介さんの作品

## 優秀賞

○金賞入賞者は次の方々です。  
 南条小学校五年 野原 洋輝さん  
 更埴西中学校一年 宮崎 涼介さん  
 東小学校六年 高橋 和基さん  
 埴生中学校一年 塩入 優月さん  
 更級小学校六年 森 琴音さん  
 上山田小学校四年 金井 りおさん

# 坂城署 夏休み親子消防体験教室

八月三日、坂城消防署において「夏休み親子消防体験教室」と題して、坂城町内の小学生を対象とした、親子参加型のイベントを開催しました。



この企画は、幼少期から地震体験や放水体験、救命講習を学んで命の大切さを知ってもらい、防災やいざという時のための関心を高めてもらうという目的で開催しました。  
 このイベントは今回で三回目となり、今年度は親子合わせて五十二名の方に参加いただきました。  
 普段なかなか体験できない地震体験車では、東日本大震災のレベルの震度7という地震の揺れを体験していただき、改めて、地震の恐ろしさを体感

していたことができました。  
 また、身近な人が倒れるなどした場合、いざというとき役立つ心肺蘇生を実際にやってみてもらい、AEDの使い方なども学んでもらいました。

火災の際には消火器を使って初期消火をする方法など、児童にも実際に模擬消火器を使い体感してもらいました。

今年も暑い真夏日が続きましたが、子供たちには夏休み中の良き思い出となったのではないのでしょうか。  
 終了後には、保護者の方々からも好評をいただき、大盛況に終わりました。

今後も小さい頃からの防災教育の機会を設けて、このようなイベントを企画したいと思っています。



# 新車両の紹介

更埴消防署に「水槽付消防ポンプ自動車」が導入されました。



水槽付消防ポンプ自動車

同車両は、一般火災はもとより、山林火災、車両火災などに対し従来より少ない水量で効果的な消火活動が可能となるシステムを搭載した最新の消防車で、災害発生時にはその能力を発揮し、活躍します。



# 住宅用火災警報器でたすかる命があります

消防法の改正により、全国一律に住宅用火災警報器の**設置が義務**付けられています

## 住宅火災の実態

住宅火災による死者の割合

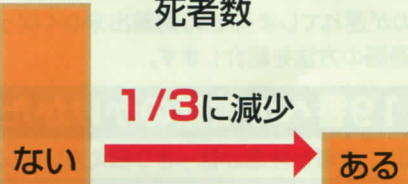
**6割**

逃げ遅れにより  
多くの方が  
亡くなっています。



## 設置による効果

住宅火災100件当たりの  
死者数



千曲坂城消防本部管内における住宅用火災警報器の設置率は75.8%ですが、全国・長野県と比べると依然とし低い水準にあります。

「火災から命を守るために」適切な箇所への設置をおねがいします。

## 一人暮らし高齢者家庭の防火指導について

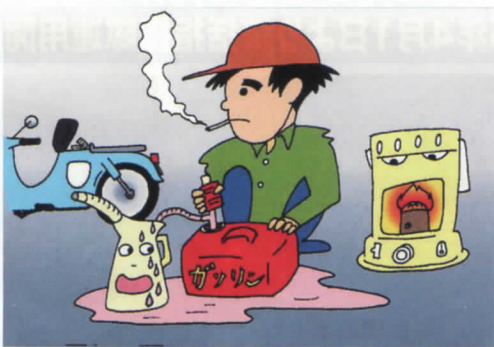
暖房機器など火気の取り扱いが頻繁になり、火災が多く発生する時季にあたり、住宅火災から高齢者の死傷事故防止を図ることを目的とする「一人暮らし高齢者家庭の防火指導」を、各地区民生児童委員の皆様と、消防団の方々にご協力をいただき、本年も12月中旬から翌年の1月末日にかけ、実施いたします。

なお、訪問の際は、訪問家庭に地区民生児童委員様から事前連絡をしてお伺いたしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



住宅用  
火災警報器  
取り付け  
てネ♥

坂城町 **ねずこん**      千曲市 **あん姫**



**ガソリンの取扱いについて**

ガソリンを取り扱っている周辺で火気や火花を発生する機械器具等を用いないでください。静電気による着火を防止するために、金属製容器で貯蔵するとともに消火器を用意しましょう。

ガソリン容器からガソリン蒸気が流出しないよう、容器は密栓するとともに、貯蔵や取り扱う場所は火気や高温部から離れた直射日光が当たらない通風、換気の良い場所とすることが必要です。

ガソリン使用機器の取扱説明書等に記載された安全上の留意事項を厳守しましょう。



千曲市戸倉総合体育館で行われた、BJリーグ試合会場

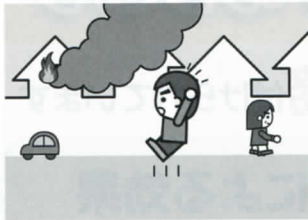
**催し物会場における火災予防指導**

平成25年8月15日、京都府福知山市において死者3名、負傷者56名が発生した「福知山花火大会火災」を踏まえ、千曲坂城消防本部では、管内で行われる屋外イベント会場の火災対策として、露店のプロパンガス設備、発電機設備、危険物貯蔵関係等について、防火点検を含めた立入検査を行いました。

立入検査では、火災に繋がる重大な指摘事項はなく、安全に取り扱われている状況でした。消防本部としても管内で行われるイベント等の主催者に対して積極的に安全管理の徹底及び事故発生時の避難誘導等について指導するとともに、露店商の方々には、事故の再発防止に向けた火気使用器具の取扱い方法及びガソリン携行缶の安全な取扱い方法等について火災予防指導を行ってまいります。



# 119番通報の仕方～救急編～



指令室員 「はい、消防署です。火事ですか？救急ですか？」

通報者 「大変だ！早く、早く来て！」

指令室員 「どうしましたか？火事ですか？救急ですか？」

通報者 「そんなこといい！早く！来ればわかるから！」

ガチャ。プー、プー、プー……



このような通報だと、火事が救急かもわからず、場所の特定も出来ません。そのため現場に駆け付けるのが遅れてしまったり、到着出来なくなってしまいます。そのようなことを未然に防ぐため、ここで119番通報の方法を紹介します。

## 119番への電話のかけかた

最初に、火事が救急かはっきり伝えましょう。今回は救急の場合の通報方法を紹介します。

指令室員	通報者(例)	注意点
消防署です。 火事ですか？救急ですか？	救急です。	慌てず、はっきり、ゆっくりと
場所はどこですか？	千曲市・坂城町大字〇〇〇の ×××番地です。	救急車を要請する場所の住所、世帯主名、 近くにある目立つ建物等を伝えて下さい。
どなたが、どうされましたか？	<b>【急病】</b> 〇〇歳の男性・女性が胸を 苦しめています。 <b>【怪我】</b> 〇〇歳の男性・女性が階段から 落ちて腰を痛がっています。 <b>【交通事故】</b> 車と車の衝突事故です。〇〇人 怪我人がいて、車の外には出ています。	急病人の年齢、性別、具体的な症状を伝えて下さい。 怪我人の年齢、性別、具体的な怪我の状態 を伝えて下さい。
電話されているあなたのお名前を 教えてください。	〇〇です。	通報者の方のお名前を伝えて下さい。
今かけている電話の番号を教えてください。	〇〇〇-××××です。	かけている電話番号を伝えて下さい。
わかりました。すぐに出動します。		

## 長野県消防相互応援隊合同訓練開催



11月2・3日 諏訪湖周辺に於いて、県内の消防相互応援隊が、地震等の大規模災害時に備え、より実践的な訓練を実施することにより応援隊の連携強化を図ることを目的に、「長野県消防相互応援隊合同訓練」が行われました。この訓練には当本部を含む、県内14消防本部から消防車両49台の他、防災ヘリ・県警・ドクターヘリなど計4機が集結し、約200人の隊員が、夜営訓練をはじめ、様々な災害想定での訓練に取り組みました。私たちは、今後も組織間の相互理解を深め、災害対応力の向上を図ります。

## 消防活動の充実強化に向けて始動！ 平成25年4月1日より統括指揮隊運用開始



災害現場で活動する消防隊、救急隊、救助隊等の出動部隊の統制を図るため戸倉上山田消防署に統括指揮隊を編成しました。統括指揮隊は、管内で発生するあらゆる災害現場へ出動し、災害現場指揮本部を設置するとともに、災害規模の実態把握、情報収集、活動方針の決定及び部隊間の統制指揮並びに隊員の安全管理を主な任務としています。

消防本部としても、総合的かつ効果的な部隊活動を行うことができるよう、統括指揮隊の編成を行い、平成25年度より運用を開始しました。

# 人事行政の運営等

「千曲坂城消防組合人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づく概略です。  
 (詳細は、千曲坂城消防本部のホームページで公表しています。)

## 1 職員の年齢状況

平成25年4月1日現在

年齢	18～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46～50	51～55	56～60	計
人数	25	12	13	17	10	7	2	8	94

## 2 給与等の状況

### (1) 人件費の状況

平成24年度

管内人口	24.4.1	歳出額	実質収支	人件費	人件費率
77,448人		8億4,909万4,564円	4,061万7,559円	6億9,895万2,101円	82.3(%)

### (2) 給与費の状況

平成24年度

職員数	給 与 費				1人あたりの給与費
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計	
93人	2億9,954万2,272円	7,500万1,673円	1億515万4,936円	4億7,969万8,881円	515万円8,000円

### (3) 平均給料月額・平均給与月額・平均年齢の状況

平成24年度

職員数	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
93人	26万6,971円	32万5,279円	34.8歳

### (4) 初任給の状況

平成25年4月1日現在

学 歴	一 般 行 政 職	国 の 制 度
		一 般 行 政 職
高校卒	14万100円	14万100円
大学卒	16万1,600円	17万2,200円

### (5) 級別職員数の状況

平成25年4月1日現在

級	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	計
職	主事補・主事	主任主事	主任・主査	主査・係長	主幹・課長・署長等	次長等	消防長等	
階 級	消防士・副土長	副土長・土長	土長・司令補	司令補・司令	司令・司令長	司令長	消防監等	
人	29	15	29	8	9	3	1	94
構成比	30.9%	16.0%	30.9%	8.5%	9.6%	3.2%	1.1%	100%

### (6) 期末手当・勤勉手当

平成24年度

区分	消防組合		国	
	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
6月期	1.225月分	0.675月分	1.225月分	0.675月分
12月期	1.375月分	0.675月分	1.375月分	0.675月分
合計	2.6月分	1.35月分	2.6月分	1.35月分

### (7) 退職に係わる手当

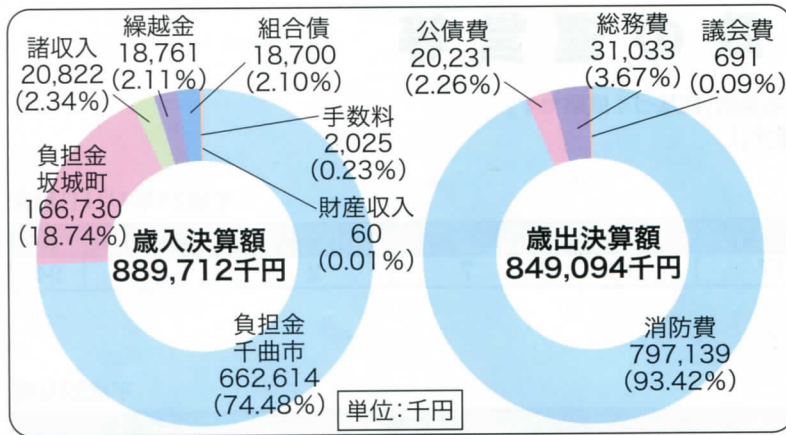
平成24年度

区 分	勤続20年(月分)	勤続25年(月分)	勤続35年(月分)	最高限度額(月分)
消防組合	30.55	41.34	59.28	59.28
国	30.55	41.34	59.28	59.28
加算措置	定年前早期退職特例措置 2～20%			

### (8) その他の手当

平成25年4月1日現在

区 分	内 容 (支給対象職員数・支給額)
扶養手当	①配偶者13,000円 ②①以外の扶養親族6,500円 ③①なしの扶養親族の1人は11,000円
住居手当	賃貸等により(16人) 支給なし～最高27,000円
通勤手当	距離、通勤方法等により(81人) 支給なし～最高8,900円
管理職手当	主幹 28,400円～消防長 49,500円(13人)
危険手当	給料の5%(当直者78人)・3%(日勤者3人)・2%(管理職13人)
救助手当	月額1,500円(隊員30人)
救命士手当	当月額2,000円(救命士24人)・特定行為 1回 510円



- ◎消防費: 職員の給与、車両をはじめ、消防救急等の資機材などです。
  - ◎公債費: 施設や設備、車両の整備等の借入金の返済金です。
  - ◎総務費: 庁舎関係、事務関係用品、電話、通信費、光熱水費等です。
  - ◎議会費: 消防組合議会のための費用です。
- ※円グラフの単位は千円

平成二十五年第二回消防組合議会定例会が十一月十一日に開催され、平成二十四年度の一般会計歳入歳出決算が認定されました。

決算の概要は、歳入総額は八億八千九百七十一万二千元、歳出総額は八億四千九百九十四千円で、四千万一千八百八千円の黒字決算になりました。

平成二十四年度は、住民の信頼と期待に応えられるよう、災害に強いまちづくりを目標に諸事業を進めてまいりました。

なお、決算の認定に当たっては、収支等いずれも適正に執行されている旨、監査委員から報告がありました。

平成二十四年度  
決算が認定される

## 新入職員の紹介

今年4月1日、当本部消防吏員の拝命を受けた2名です。  
4月から長野県消防学校において半年間の初任科課程を修了し、現在、消防士として戸倉上山田消防署に勤務しています。今後は、救急隊員としての資格取得課程修了後、消防活動の最前線で活躍します。よろしくお願ひします。

**千野 祥太郎**  
消防士  
(戸倉上山田署所属)  
出身 坂城町刈屋原



**宮澤 光**  
消防士  
(戸倉上山田署所属)  
出身 千曲市小島



**【抱負】**消防官としての自覚をもち、住民の方々の役に立てるように頑張っていきたいです。

**【抱負】**自覚と責任をもち、1日でも早く住民の方々の役に立てる隊員になれるよう、努力を惜まず活動します。

## 平成24年中 火災・救急出動件数



火災出動件数  
**43件**



救急出動件数  
**3,386件**



救助出動件数  
**41件**

※救急車の適正利用にご協力ください!!

## 編集後記

今年の夏も暑かった。猛暑日が続き、寝苦しい毎日。それも今では懐かしいほど、季節は冬へと...

消防のプロである私達が作成した広報紙で、消防を理解していただき「災害を減らせたら」こんな目的で作られた「広報しょうぼう」も早三十九号、効果はあったのでしょうか...

災害は増えてゆくばかりと感じているのは、我々消防職員だけではないような気がします。「災害を減らす」この言葉・もう一度、原点に帰って、皆さんと考えてみたいと思います。どうすれば「安心」「安全」なのかを...

## 電話番号のお知らせ

- ◎代表電話 (026) 276-0119
- ◎F A X (026) 276-9119
- 消防本部
  - 総務課 (026) 275-2122
  - 予防課 (026) 276-5875
  - 警防課 (026) 275-2543
- 戸倉上山田消防署 (026) 275-0599
- 更埴消防署 (026) 274-0119  
FAX (026) 273-1119
- 坂城消防署 (0268) 82-0119  
FAX (0268) 82-1119